



茨城県知事  
橋本 昌

## 世界へはばたき、未来をひらく 茨城の国際化推進に向けて

茨城県におきましては、昨年、首都圏北部の空の玄関口となる茨城空港が開港いたしました。ソウル、上海と直行便で結ばれ、偕楽園など県内の主要な観光地へ海外からの観光客が増加するなど、発展著しいアジア地域との交流人口が一層拡大しています。また、つくば、東海、日立、鹿島などに研究機関が立地していることから、我が国における「研究」資格による外国人登録者数のうち、約3割の方が本県に在住しているなどの特色があります。

この度の東日本大震災発生時には、県内に5万4,000人を超える外国人が在住しておりましたが、異国の地で初めて体験する大きな災害に不安を感じた方々も多くいらっしゃいました。県では、そうした不安を少しでも和らげるため、(財)茨城県国際交流協会と連携して、いち早く外国人相談センターを立ち上げ、24時間体制で相談に対応するとともに、災害情報や被災者支援に係る情報を8カ国語で発信するなど、在住外国人の方々のサポートに努めました。

こうしたなか、地震直後より、世界各国から本県に多大なる義援金や支援物資が寄せられております。さらに、海外の皆様からたくさんの温かな励ましのお言葉をいただきましたことに、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

震災から約半年が経過し、社会基盤の復旧が着実に進んでおりますが、福島第一原子力発電所の事故に伴い、依然として外国人観光客の訪日自粛などの影響が出ていることから、引き続き、国内外に本県の安全性を情報発信しながら、風評の払拭に取り組んでいきたいと考えております。

このような厳しい状況ではありますが、本年2月には、今後5年間の県の国際化施策の方向性を示す「茨城県国際化推進計画」を策定したところであり、多文化共生社会の実現、文化やスポーツなど多様な交流の拡大、国際感覚豊かな人づくりにしっかりと取り組んでまいります。

特に、アジア地域との交流事業といたしまして、(財)自治体国際化協会の助成制度を活用し、日中韓3カ国の青年の参加により、アマチュアバンドによる交流会「TEENS ROCK ASIA IN JAPAN」が7月24日に開催されたところです。昨年の上海万博会場での開催に続き2回目となるこのイベントは、ロックという世界の若者共通の文化を通して各国の参加者が相互に理解を深める貴重な機会となりました。

今後とも、在住外国人の方々への支援を進めるとともに、交流の拡大を図り、元気ないばらきを世界に発信してまいりたいと考えておりますので、関係各位の皆様のご協力をお願い申し上げます。